

2004年度第7回 常任幹事会議事録

●日時
2005年3月26日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号室

●出席幹事
秋元圭一 [会長]
日野 高 [副会長]
甲斐光省 [副会長]
西田一成 [常任]
渡部征明 [常任]
大村政幸 [常任]
浜村圭一 [常任]
松岡和彦 [常任]
小山 弘 [常任]
勝山昌幸 [常任]
角谷祥子 [常任]
藤原成理 [常任]

●委任欠席(カッコ内→代理人)
目須田修 (→西田氏)
菊池 満
西谷之男
三浦嘉久
川島昭作 (→西田氏)
岸 明美

常任出席者 12名
委任欠席者 6名
定足数成立

●議事進行
議長・進行: 小山 弘

●議事録
書記: 大村政幸
校正・制作・文責:
秋元圭一・小山 弘・角谷祥子

■議題
議題1
活動計画と予算について

議題2
その他

議題1:活動計画と予算

●事務局

担当の小山氏から、2004年度の活動報告が述べられた。

- ・作業環境は新OSへの移行・データ化が完了し、書類作成・保存については各委員会ごとにフォルダ分けをして保存、配布書類の電子化(お知らせや議事録など)などが実施できた。
- ・校内事務所での作業は仕事不足の為、外部の人間が学校に来て行う事は現実的ではなかった。
- ・学校との連帯は上記理由により助手の方を事務作業員として採用するのを見送り、業者に依頼しての名簿連帯作業は予算面で見送りとした。

続いて2005年度活動予定が述べられた。

- ・関係書類はシンプルにして、読みやすく。ホームページに上げるスピードも早める。
- ・同窓会を認知してもらうため、広報担当の藤原氏と連帯して、同じ会員がボランティアでやっている事がわかるように同窓会ニュースで告知したい。
- ・名簿連帯については学校のデータベースのフォーマットに合わせる作業を同窓会内で進めていく。

「(松岡)校内の同窓会スペースは必要か?」との質問に「(小山)書類等の置き場所や教職員の方が事務局員になった場合、また、今後の事も考え従来通り校内に机とパソコンを置いてあった方が良い」と答えた。

事務局予算については来年も会費徴収との問題もあり抑えめの予算としたが、セキュリティーの問題を含め今年度末か来年度の頭に作業用のノートパソコンの購入を予定したいとの要望があった。

●会費徴収

「(秋元)2006年度から2年間のブランクが出るので今ある繰越金の中で予算立てをしていきたいとし、学校への手数料はまだ正式に話が決まっていないことと、徴収の時期を変える理由をどこかに記述しておかないといけない」と述べた。

●Web

担当の松岡氏は「今年度はWebの管理維持費として13万2千円使用した。来年度はいろいろなコンテンツを充実したい」と述べた。

●広報・在校生・同窓生支援

担当の渡部氏から今年度の活動費用は学園祭の講演会だけで、トータルで30万くらいだったとの結果報告があり、来年度は講演会費用に15万円、卒業生の個人情報募る場合として5万円、あさしん発送費として10万円で、全体で合計76万円予算を計上したいと述べた。また、会員へのあさしんの発行と、支援委員会の人員増強の話が出たがまとまらず、次回会議へ持ち越された。

●その他

2005年度阿佐美フェスタの担当となった松岡氏から「同窓会を在學生にアピールできる機会を阿佐美フェスタの中で設けられたらと思っている」と述べ、続けて「今年12月に阿佐美が60周年の為、同窓会として花を贈るとか何か協力するべきか?」との質問に、秋元会長は「予算が必要な場合、事務局の予備費を用意しますので、具体的な話が出た場合にこの場で説明できるようにお願いします」と答えた。

議題2：選挙・会則検討・その他

●選挙

秋元会長より試案(別紙1参照)が提出され意見交換となった。

「(松岡)選挙自体の必要性はあるか。立候補者全員で常任幹事をやってみてはどうか？選挙で選ばれてもやらない人もいるし、自分が立候補して活動する限りは問題がないと思う。幹事への連絡の返信が170名中50名では、今やっている手順自体が非効率的だと思う」

「(秋元)立候補がなかった場合に途切れてしまう問題がある。今ある選挙の問題点の検討と平行して別立てで考えては？」

「(日野)立候補者が即OKにはならない、承認が必要だと思う。また、科の一本化については、科の最低分母の比率を守る為に出来たものだと思う。幹事さんとしてこういう仕事を願いますという文面をつけておきたい。コース分けが複雑なので学校と別枠でくくりを設けないといけないのではないか」

「(藤原)卒業生が50名を超える科に関しては2名にする方法はどうか。幹事が学年の代表であれば常任幹事を選ぶにも全員の総意だという事が言えるが、今そうではないから問題になっている」

「(渡部)その年度の幹事が顔を合せて役割確認をする場を設けてほしい」

などの意見があり、来年の選挙に向かったの**継続検討**とした。

●会則検討

担当の甲斐氏より試案(別紙2参照)の提出と共に「連絡という呼び名をやめて、連絡幹事と委員会を合せて企画連絡といったような前向きな名前にして、何か企画も立ち上げて検討してもらい、理想的には常任幹事会はそれに対してイエスかノーを言うだけで済む状態にしたい」と述べた。

「(秋元)幹事に対する案内で、ここは変えたいという部分の提案を、会則改定の議案と一緒におこない結論を出せるようにしたい」と述べ、会則検討について**何か案のある方は次回提案**してもらった事になった。

●アサビアワード

担当の勝山氏は「今年は誰々がこういうのをやったという紹介や発表ができる場所とその情報を吸い上げる仕組みができると、この賞が生きてくる。動いてないのに器だけできてしまうと賞も継続的にあげ続けなければいけなくなる。例えばあさしんのインタビューとリンクするとかいった具体性が見えてきた中で賞をあげるようにしたい。タイミングとしてはイベント性もあるので総会パーティーでいいのでは」と提案した。

「(秋元)同窓会からの人選と、自薦推薦で同窓会に挙げてもらう方法もある。例えば年に一回の公募展や展覧会とか予算に流動性を持たせた部分を作っておいて会員の活動の為に賛助金という形も考えられる」と述べ、**事務局の予備費という形で予算を計上**する事とした。

●その他

・松岡氏より、**故加藤先生を偲ぶ会の告知ページ**を同窓会のサーバに置きたいという要望があり、全会一致で承認された。

次回日程：

2005年5月21日(土)15:00～の幹事会日時の確認をして議会は閉会した。

会則改訂の提案を行うことに合わせ、選挙方法を見直したいと考えます。

- 白分の学年の人は分るが、誰を選んで良いか分らない。
 - 幹事に案内を送っても、50通前後しか返送されてこない。
 - 現在の学校でのクラス分けを考えると、デザイン科・絵画科・イメージクリエイション科の3つに別けてそれぞれで選出することにはずれを感じる。
 - 立候補する人がいた場合、いまの方法では対処しにくい。
 - 研究科終了の会員(幹事)にメッセージが届いていない。
- これ以外にも、いろいろと意見があると考えられますが以上の点を少しでも改善出来るように試案しました。

<従来の方法と違う点>

- 幹事さんに継続の意志確認を行う。
替わりたい人は同クラスから選び替わってもらう。(新しいひとの意志確認はしてもらう)
- 幹事さんの経歴・プロフィールを選挙の時に同封する。
意志確認を行う時に経歴・プロフィールを書いてもらう。
- 立候補者を募る
Web上で募集する(推薦もありかも)
- クラス分けをせずに、全員を一覧表にし投票する。どのクラスから何名という制限をなくす。
平成9年度あたりからクラス分けが大きく変わっている。(クラス表示をはっきりと)
研究科終了の会員(幹事)も被選挙人とする。
- 選挙を行う時期(2月)を考え、その年の3月に卒業する会員(幹事)は被選挙人とししない。

<スケジュール>

- 9月下旬 --- 会則改訂の提案の詳細決定
選挙方法の詳細決定
↓
案内・アンケートの文面作成
- 10月 --- 幹事に継続の意志確認
(選挙時にプロフィールを載せることへの了解とそのアンケート)
この時に会則改訂の提案と承認ができるとうい
↓
- 12月 --- 回収・集計・チェック
↓
- 1月中旬 --- 被選挙人の決定
投票用紙・プロフィールの作成
幹事名簿のチェック
↓
- 2月中旬 --- 投票用紙・プロフィール発送
↓
- 3月中旬 --- 投票締切り/開票

これはあくまでも試案です。

気になる点や付加える点、違う案など意見をお出しください。
できるだけ簡素で分かりやすい方法にまとめられればと考えます。

2005年度計画

- プロジェクトチーム
 - ☆WEB/asabi-netの活用
 - ・同窓生のインタビューページの作成(あさしんと連携で)
 - ・転居先不明会員表示の検討
 - ☆広報同窓生在校生支援
 - ・講習会OB後援会などの企画
 - ・秋の阿佐美学園祭に、同窓生の作品展示やイベントなど
 - ・卒業制作展の表賞、卒業式後のパーティへの補助・参加
 - ・同窓会ニュースの発行(年1回発行/活動報告、予算・決算報告等)
- 事務局
 - ・幹事の親睦をはかる為の研修会の計画
 - ☆会則検討/常任幹事の任期・選出方法他(秋を目標に)
 - ☆選挙管理/常任幹事選出選挙の準備・実施
 - ☆名簿連携/同窓会名簿を学校のサーバー上にのせることを考えて連携と名簿リニューアル
- その他
 - ・阿佐ヶ谷美術専門学校・日本装飾美術との交流、連携。

以上

会則検討 試案

第1章(目的)

第3条 本会は会員の相互の親睦を厚くし【母校と会員相互の発展】のために、、、

第2章

第7条 正会員は、総会において別に定める規定により、【3年進級時】に会費を納入しなければならない。

第3章 (任期) 2年→【3年】

【7は削除】

第6章

連絡幹事会・委員会→【企画連絡委員会】

第34条

3・連絡幹事会は【委員長】が招集する。

4・【(7)事業の発案、検討、遂行】

【(委員会)及び第35条は削除】

文責 甲斐